

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書

研究開発課題名	Unstructured タンパク質を標的にしたドラッグデザイン手法の確立を目指した研究
代表機関名	国立大学法人大分大学
研究開発代表者名	上村 尚人
全研究開発期間	平成 29 年度～令和元年度

1. 研究開発成果

事後報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000065840.pdf>

2. 総合評価

・ 優れている。

【評価コメント】

本課題は、Unstructured タンパク質の PPI をターゲットとした創薬研究を目的として、標的となり得る 2-turn Hydrophobic motif を有するタンパクのリスト化を完成させ、多くの創薬共同研究につなげるなど、十分な成果をあげている。また、大分大学内を中心に Computational & Medical Biologist の養成を図り、共同研究組織を構築したことも評価できる。

今後、人材育成を展開するにあたって、単一のアカデミア機関だけでなく九州地区の大学研究共同体を目指すなどの取り組みに期待したい。

以上